

県内小売店の米の価格等調査結果（6月23日時点）

食パラダイス推進課

令和7年6月24日

- 随意契約による政府備蓄米が県内小売店において6月12日から販売開始され、約2週間経過したことから、県内スーパー等へ聞き取り調査を行いました。

【R7.6.23 県内小売店(10店舗)への調査結果の概要】※事業者数ではなく店舗数で記載

- 県内の小売店においては、希望する入荷量に達せず、品薄感があるが、購入制限まではかけていないという店舗が大多数を占め、全商品において購入制限をかけているのは1店舗のみであった。
- 入札備蓄米（表示：ブレンド米又は複数原料米）の入荷は8店舗、随意契約による備蓄米は5店舗で販売が開始された。随意契約による備蓄米には全店舗とも購入制限をかけている（一人1袋又は一家族1袋）。
- 今後の販売価格の動向については、前々々回（6月10日）、前々回（6月13日）、前回（6月18日）調査時、「当面下がる見込みはない」、「現時点では不明」との回答が9店舗に上ったが、随意契約による備蓄米の販売が開始となっても、回答に変化はみられなかった。店舗の担当者への聞き取りでは、随意契約による備蓄米の放出と価格高騰の沈静化は連動せず、これまでの商品ラインナップに安価な商品が追加されただけという見方が大半であった。
- 随意契約による備蓄米が販売開始となった店舗の担当者への聞き取りでは、お客様からの反応は特段ないが、入荷日には完売する状況から、安価な米が歓迎されている印象とのこと。
- 随意契約による備蓄米の販売については、入荷時期が直前に決まること、また、各店舗の入荷数量が限られることもあり、アプリ会員やLINE登録者など限定的に告知している様子。
- 定点品目である県産コシヒカリ5kgの入荷があるのは8店舗、残り2店舗では取扱いなし。価格は4,946円～5,500円（税込）で6月3日の調査開始時以降、変わりなし。

【調査概要】

1 調査対象店舗

県内のスーパーマーケット、ドラッグストア等（10店舗）

- 〔東 部〕 2店舗
- 〔中 部〕 1店舗
- 〔西 部〕 2店舗
- 〔広域展開〕 5店舗

2 調査方法及び項目

購入制限、在庫状況、入荷状況、価格動向（見込み）、店頭価格 等